

2012年3月期(2011年度) 決算説明会

2012年5月24日

「光と電波」情報通信・デジタル家電を支える

株式会社 **昭和真空**

証券コード:6384 大証JASDAQ(スタンダード)

2011年度 決算概況 (連結)



(百万円)	2010年度		2011年度			
	実績		実績		対前期	
	金額	百分比	金額	百分比	増減額	率
受注高	9,359	—	5,646	—	▲3,713	▲39.7%
売上高	9,227	100.0%	7,086	100.0%	▲2,141	▲23.2%
営業利益	235	2.6%	▲355	▲5.0%	—	—
経常利益	225	2.5%	▲389	▲5.5%	—	—
当期純利益	180	2.0%	▲1,539	▲21.7%	—	—

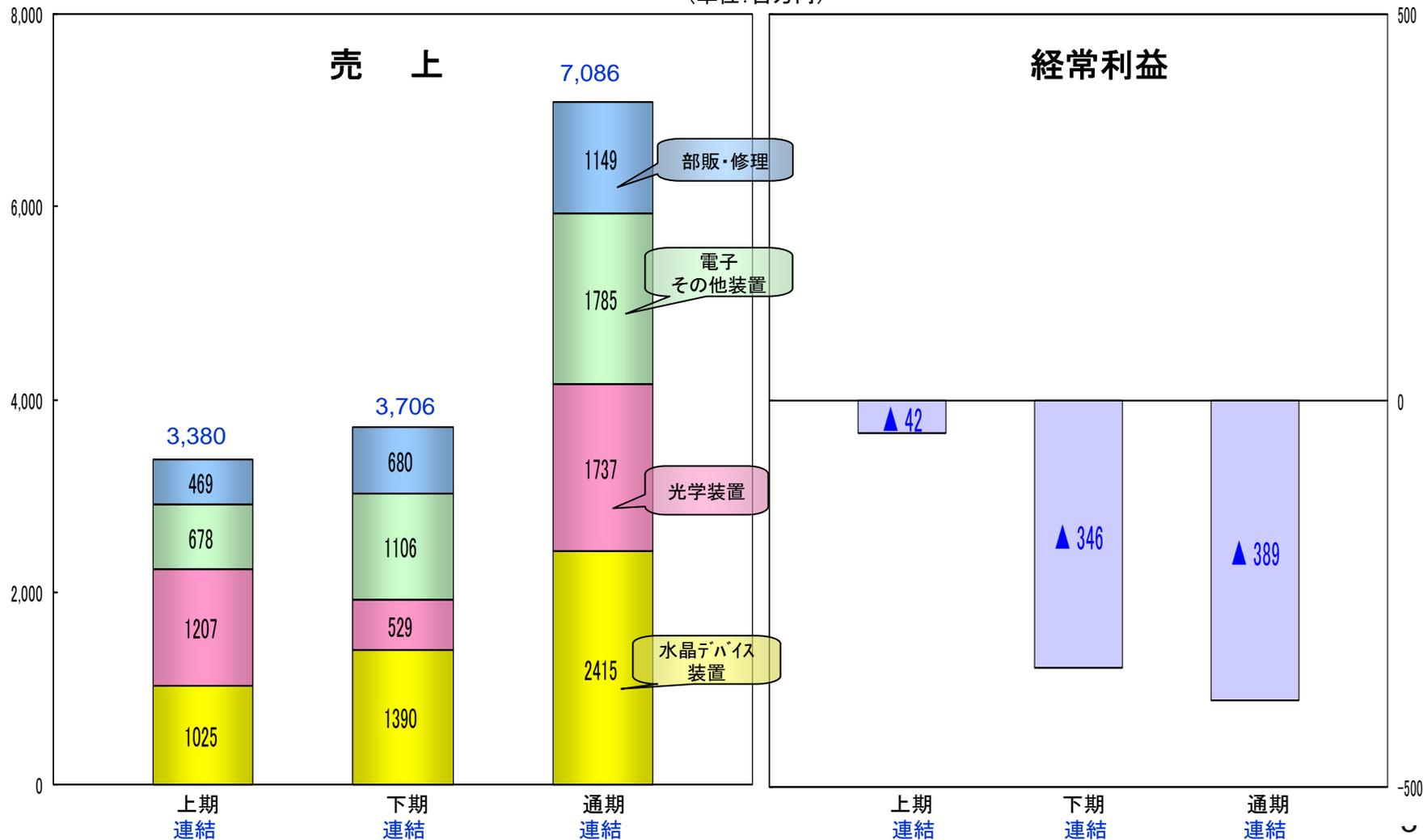
2011年度に太陽光発電関連の受注額を控除しております。

2011年度 売上と利益

(連結)



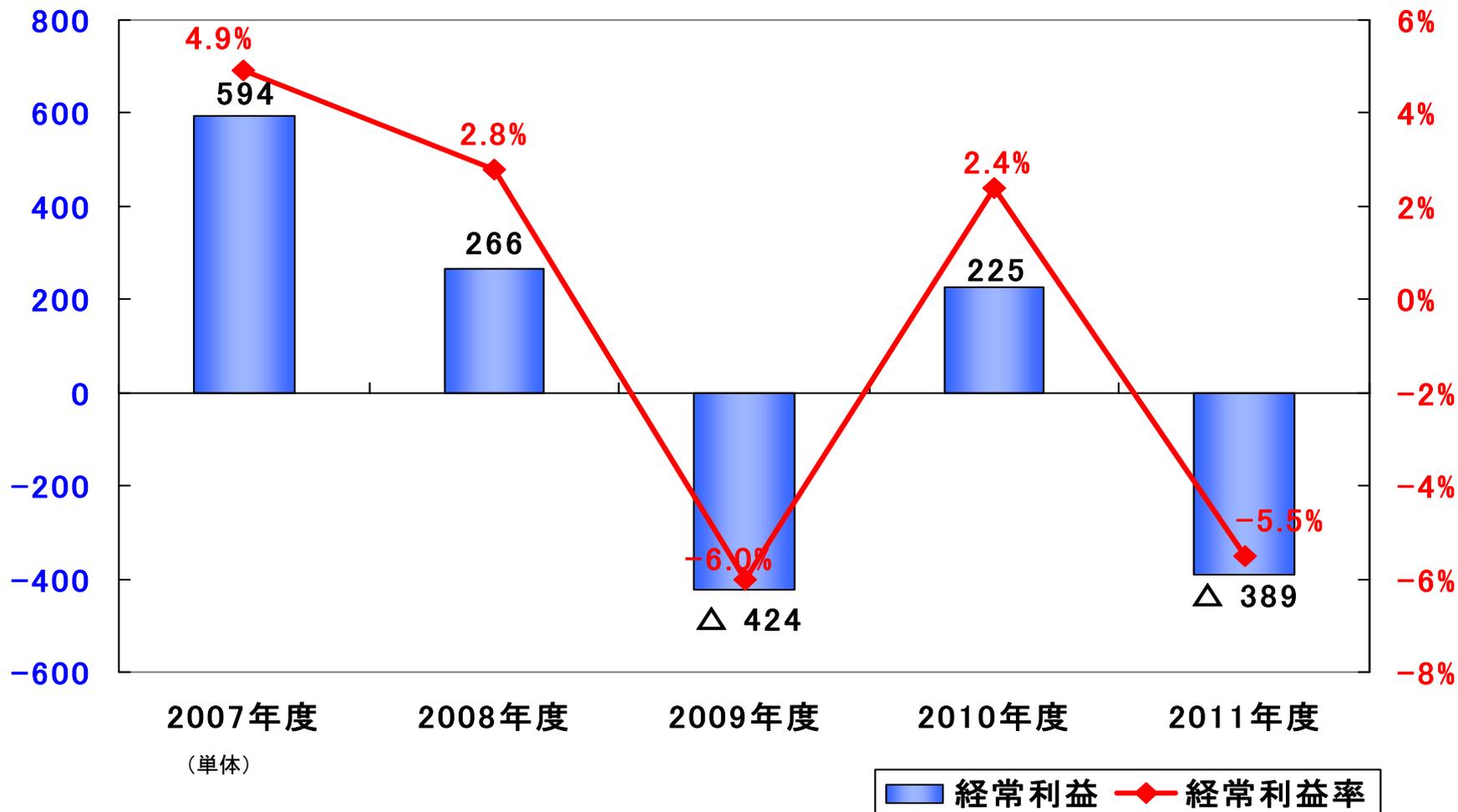
(単位: 百万円)



経常利益及び経常利益率推移 (連結)



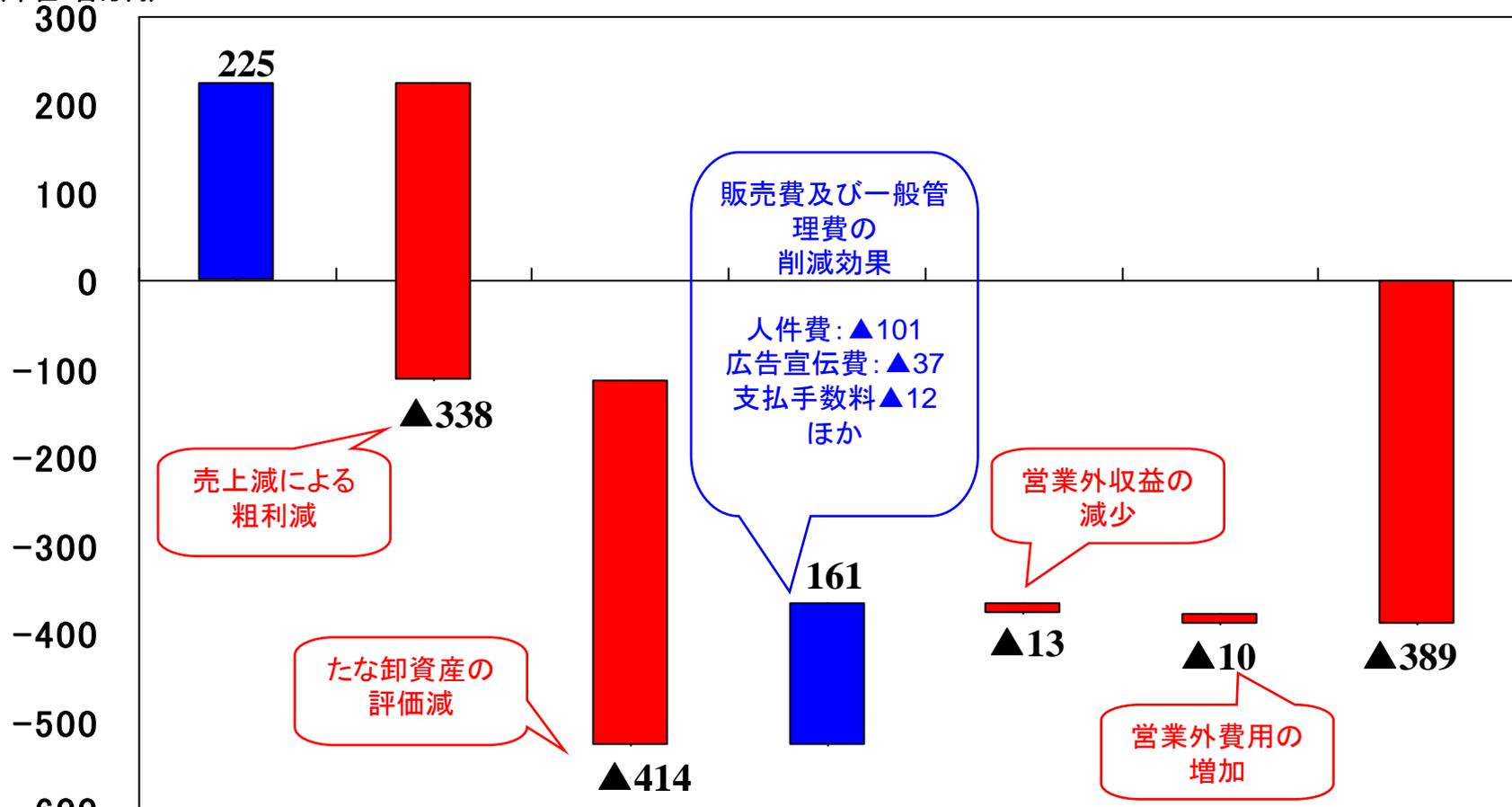
(単位:百万円)



経常利益の増減要因分析 (連結)



(単位: 百万円)



2010年度

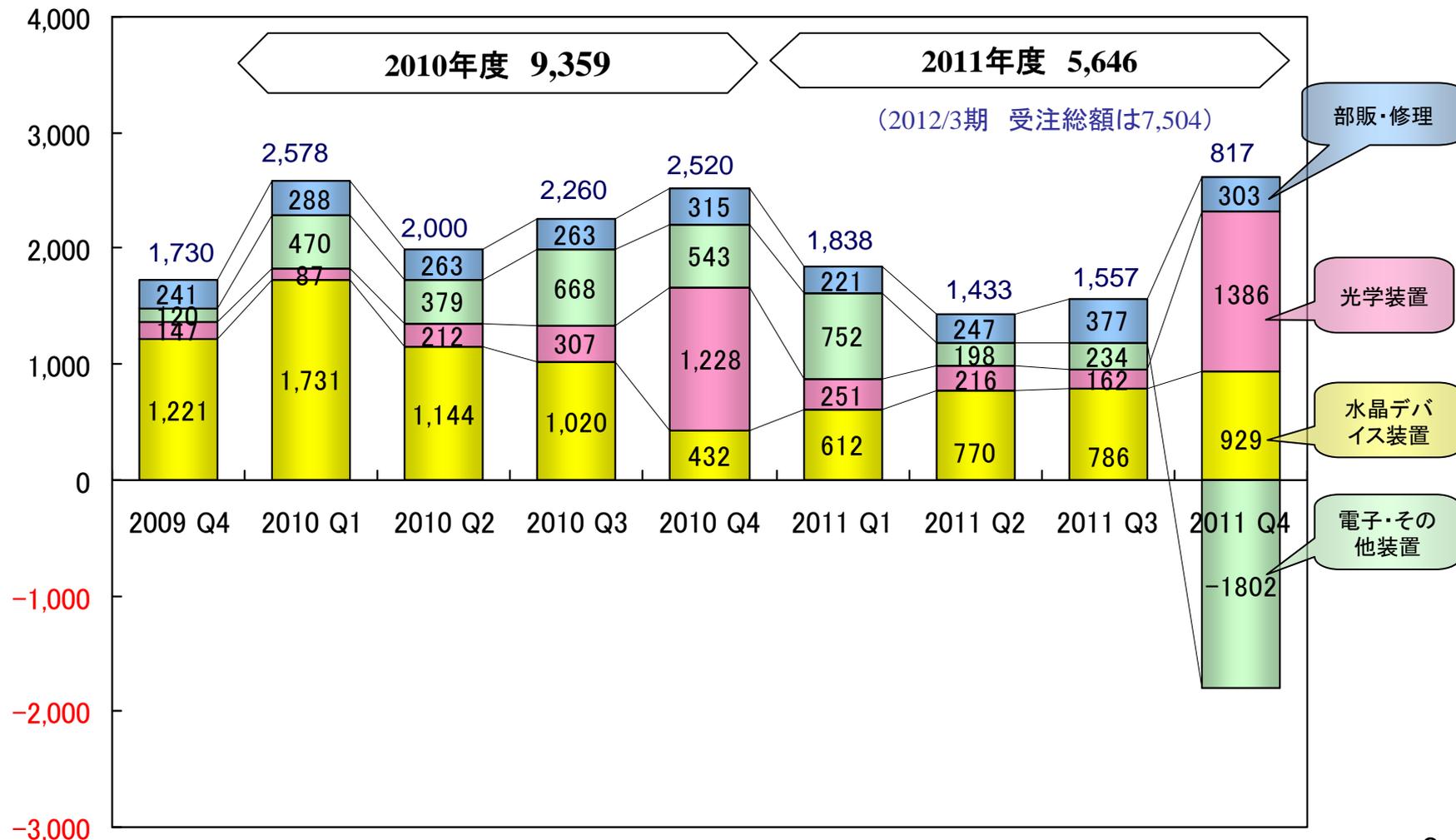
経常利益減少 614百万円

2011年度

受注高品目別推移 (四半期、連結)



(単位: 百万円)

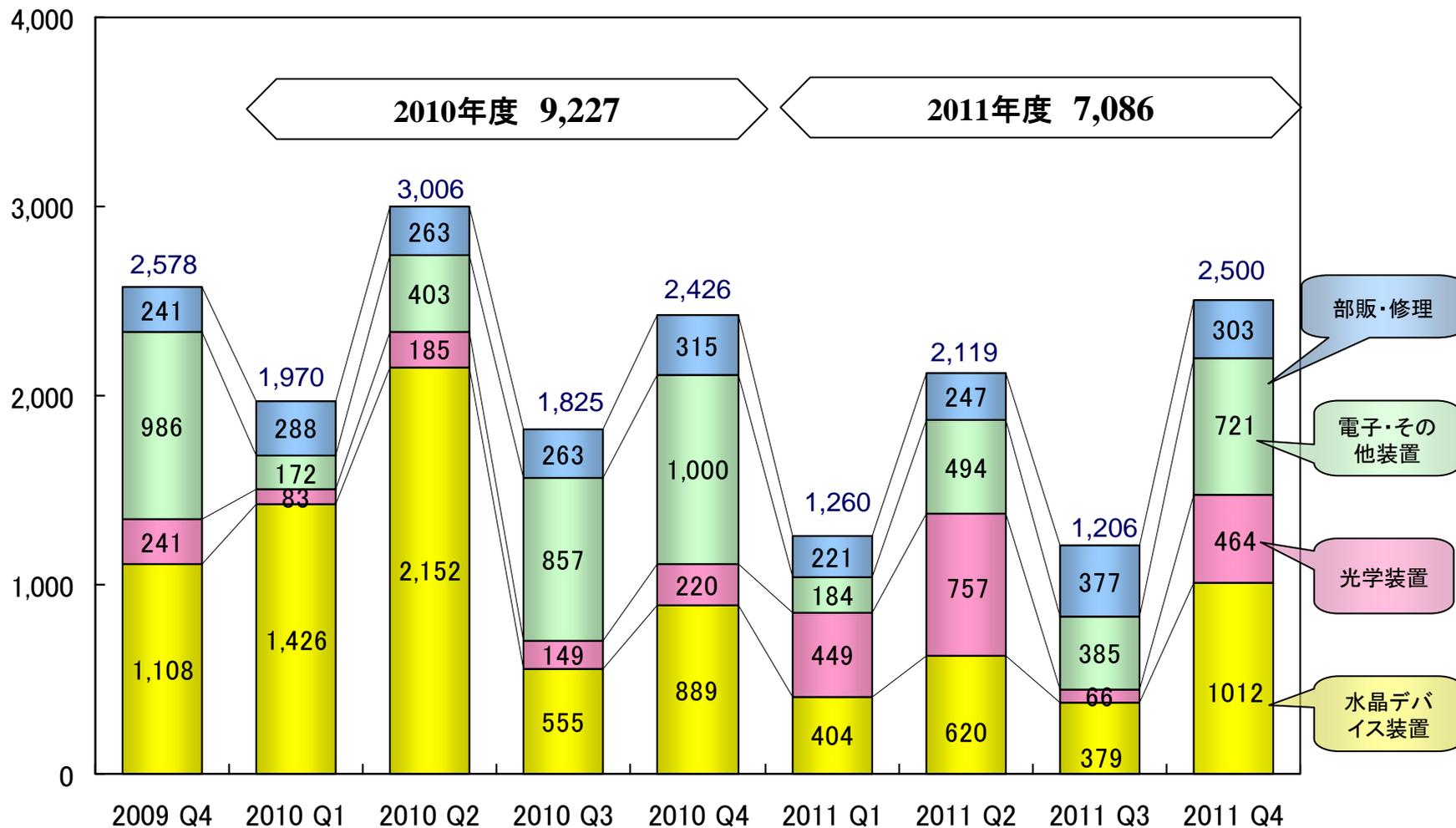


2011年度 に太陽光発電関連の受注額を電子・その他装置より控除しております。

売上高品目別推移 (四半期、連結)



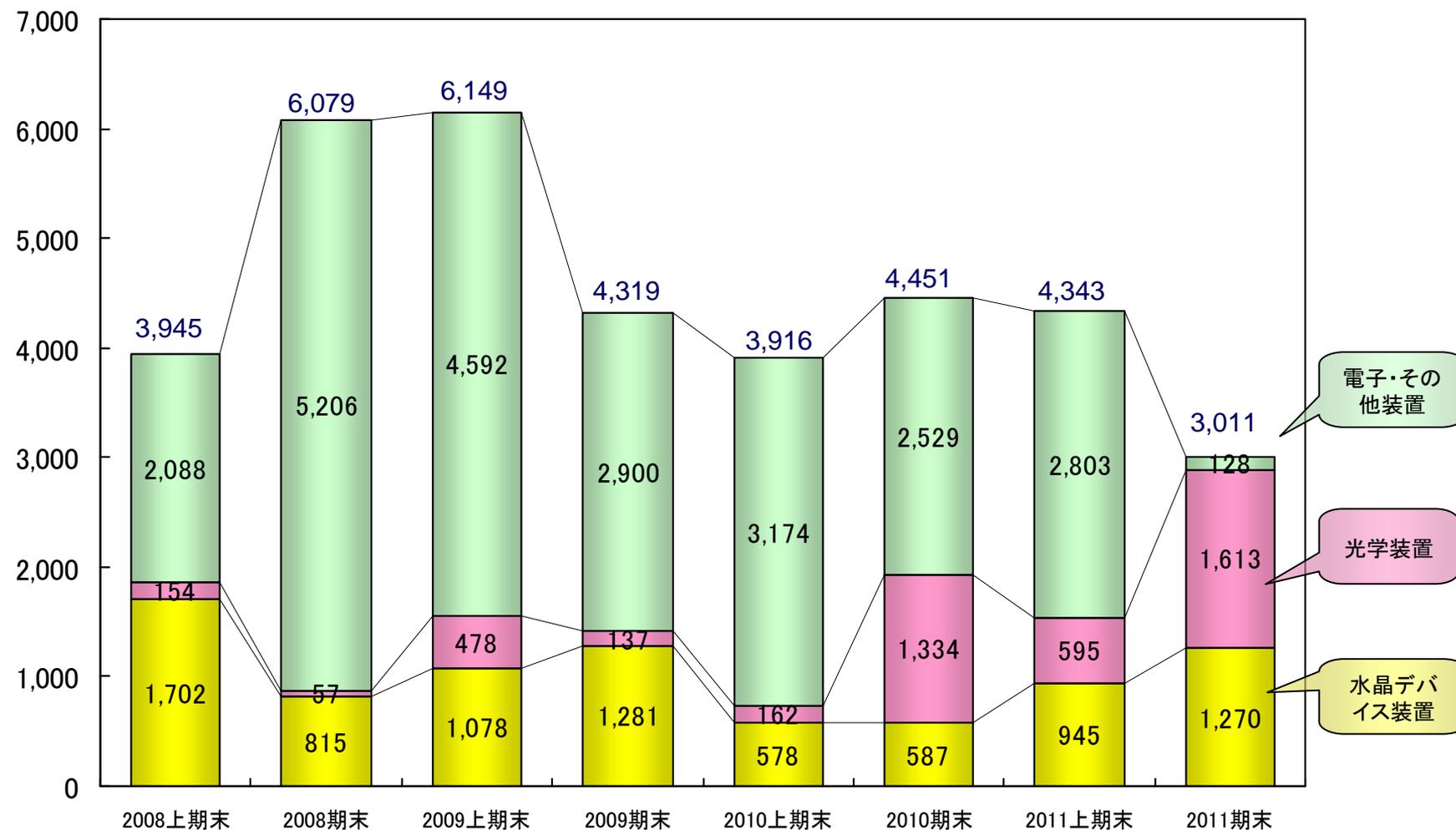
(単位:百万円)



受注残品目別推移 (連結)



(単位: 百万円)



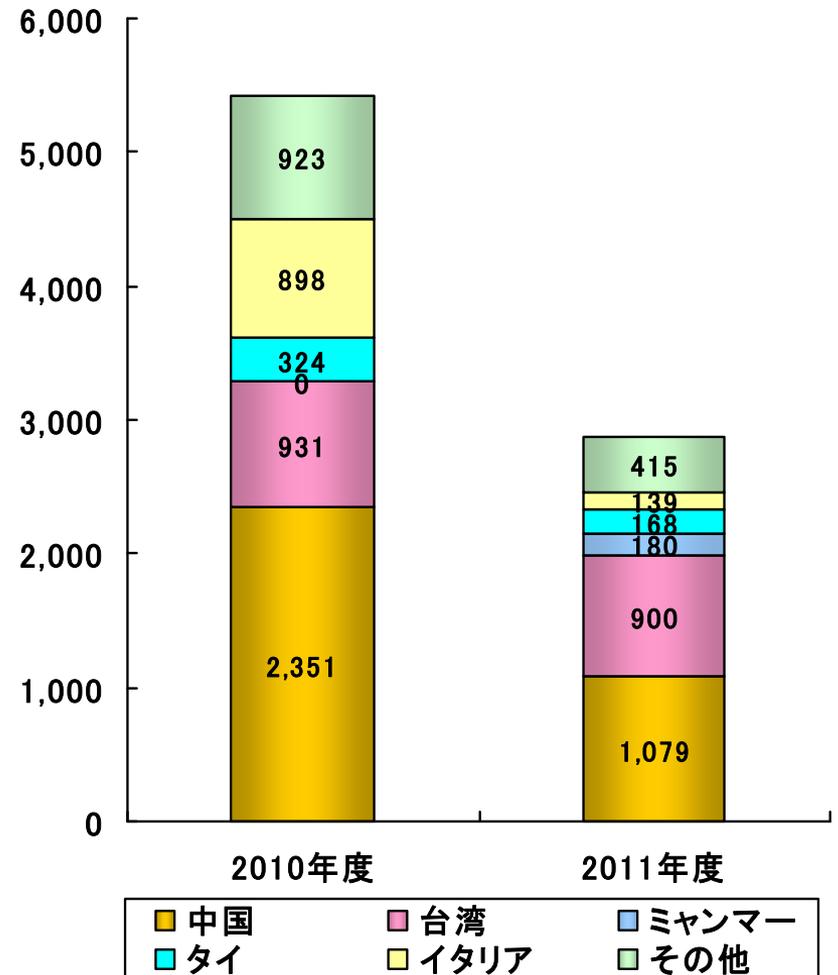
2011年度期末に太陽光発電関連の受注額を電子・その他装置より控除しております。

輸出先国別売上高推移

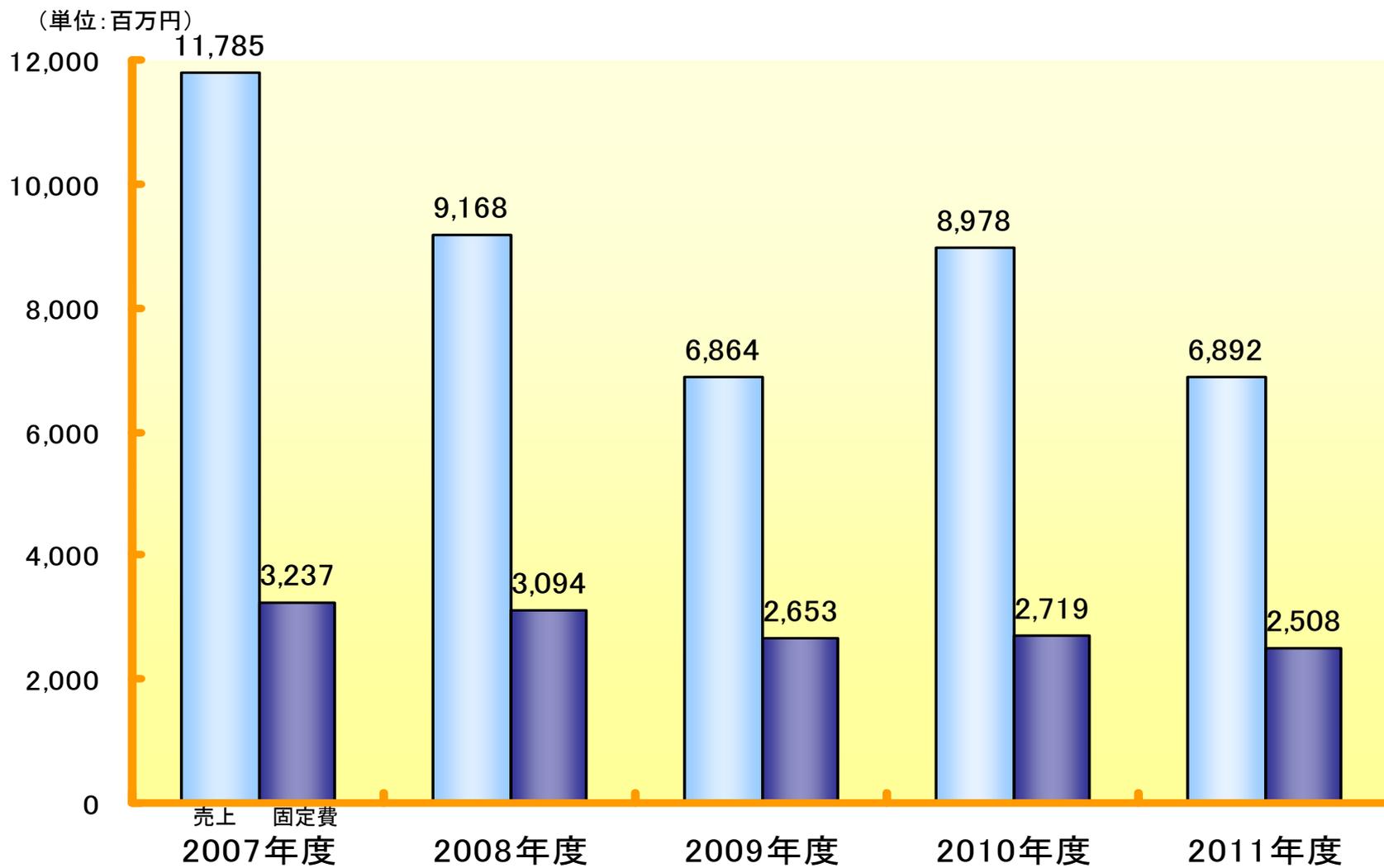


(単位:百万円)

	2010年度	2011年度
中国	2,351	1,079
台湾	931	900
ミャンマー	0	180
タイ	324	168
イタリア	898	139
その他	923	415
合計	5,430	2,884
輸出割合	58.9%	40.7%



売上及び固定費の推移 (単体)



貸借対照表 (連結)



(単位: 百万円)

	2010年度	2011年度	増減額	主な増減要因
資産合計	11,860	9,629	▲2,231	
流動資産	6,856	6,374	▲482	現金預金351、受取手形及び売掛金▲372、仕掛品▲313、繰延税金資産▲99
固定資産	5,004	3,255	▲1,749	有形固定資産▲1,650
負債合計	4,806	4,174	▲633	
流動負債	4,073	2,545	▲1,529	1年内返済予定長期借入金▲368、 1年内償還予定社債▲1,000
固定負債	732	1,629	896	社債800
純資産合計	7,054	5,454	▲1,599	利益剰余金▲1,601

借入依存度 14.4%

自己資本比率 56.6%

固定比率 59.6%

キャッシュ・フロー計算書 (連結)



(単位:百万円)

	2010年度	2011年度	主な要因
営業活動によるキャッシュフロー	640	304	税金等調整前当期純損失 ▲1,422 減価償却費 166 減損損失 1,024 売上債権の減少額 372 たな卸資産の減少額 270
投資活動によるキャッシュフロー	94	507	有形固定資産の売却による収入 550 有形固定資産の取得による支出 ▲60
財務活動によるキャッシュフロー	▲2,345	▲543	長期借入れによる収入 500 社債の発行による収入 782 長期借入金の返済による支出 ▲730 社債の償還による支出 ▲1,000
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲13	0	
現金及び現金同等物の増減額	▲1,624	269	
現金及び現金同等物の期首残高	2,596	971	
現金及び現金同等物の期末残高	971	1,241	

2011年度 まとめ



- ① 経常利益 Δ 3.89 億円
- ② たな卸資産の評価減額 4.14 億円
- ③ 不動産の減損処理 10.27 億円
- ④ 第二工場売却 5.3 億円
- ⑤ 太陽電池向大型装置 有効受注残より除外
- ⑥ スマートフォン向 光学部品・電子部品の真空装置を受注

業績の見通し及び今後の戦略

- ① 世界経済は引き続き先行き不透明
- ② 改善されつつも超円高はつづく
- ③ スマートフォン・タブレットPCは成長
- ④ 電子部品は日本製
- ⑤ ユーザーの設備投資は徐々に回復

2012年度 方針



① 技術革新・グローバル化・スリム化

② 我々が注視する成長市場は
スマートフォン・タブレットPC

③ 成長する地域は
中国を中心としたアジア

④ 受注優先による仕事量確保

- ① 市場ニーズに対応した
新型装置の投入による受注拡大
- ② アフターマーケットへの拡販
- ③ 上海子会社への営業・生産移転の加速
- ④ 徹底したコストダウン
最大限の固定費の削減

2012年度業績計画 (連結)



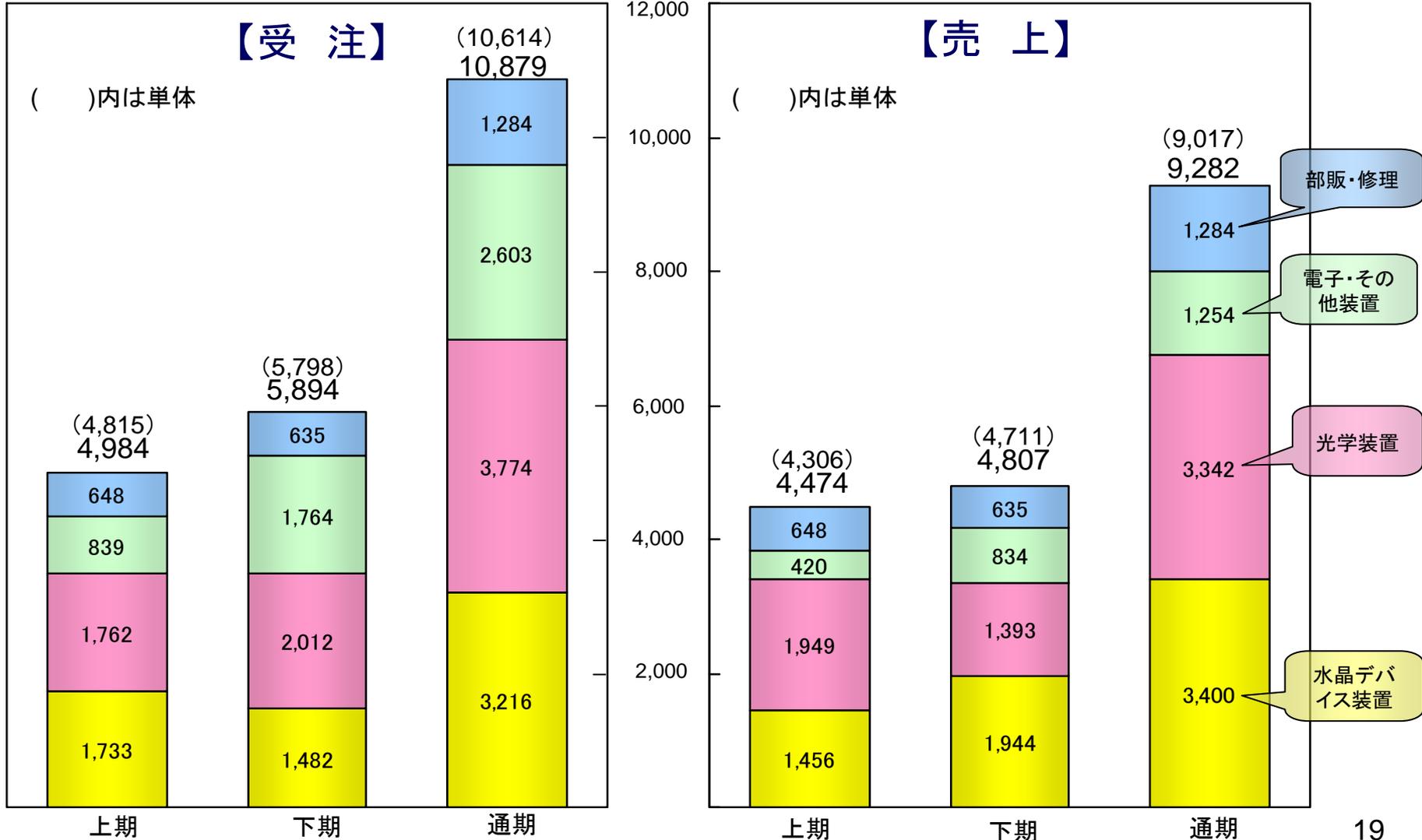
(単位:百万円)

	2011年度実績			2012年度計画		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
受注高	3,272	2,374	5,646	4,984	5,894	10,879
売上高	3,380	3,706	7,086	4,474	4,807	9,282
営業利益	▲11	▲343	▲355	32	140	173
経常利益	▲42	▲346	▲389	41	143	184
当期純利益	▲22	▲1,517	▲1,539	34	132	166

2012年度計画（受注・売上）



(単位: 百万円)

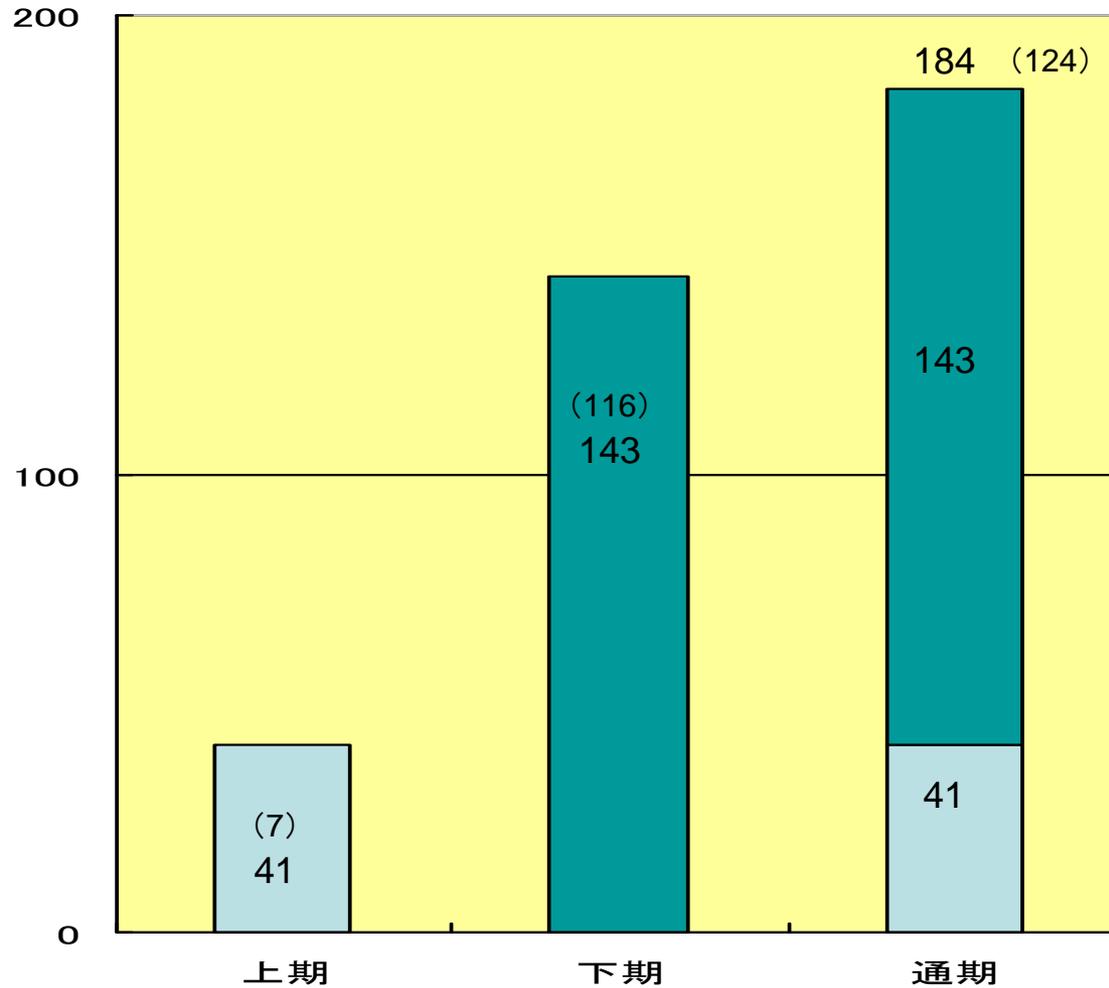


2012年度計画(経常利益)



(単位:百万円)

()内は単体



設備投資計画など (単体)



(単位:百万円)

	2011年度	2012年度計画
設備投資額	62	5
研究開発費	341	331
減価償却費	152	136

①戦略的基盤技術高度化支援（経済産業省）

A: 超小型水晶振動子の周波数調整技術の研究開発

B: ITO透明導電膜の代替膜のフィルム基板への成膜プロセスの研究開発

②農商工連携等による被災地等復興支援事業

A: 真空成膜装置用の磁気動力伝達ユニットの開発

③相模原市中小企業研究開発補助金

A: スーパーコンピューターを使用した真空プラズマ中でのイオンの動きの解析

《注意事項》

本説明会資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、公表時点で入手可能な情報に基づく将来の予測であり、潜在的なリスクや不確定要素を含んだものです。

そのため、実際の業績はさまざまな要素により、記載された見通しと大きく異なる結果となり得ることをご承知おき願います。

本日はありがとうございました。



株式会社 昭和真空
SHOWA SHINKU CO., LTD.